

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	・開所よりの理念	○	・地域を含めた理念を考えてたい。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	・お1人おひとりの意に添った環境の中で無理強いする事なく過せるよう関わり、また、安全・安心・安穏とした生活が出来ることを目標としていることを再確認し業務に臨むよう、朝の申し送り後に出勤者(職員)全員で暗唱している。		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	・特に普及させるような活動・行為はない。		
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	・立地条件が悪く、人の出入りが殆どない場所なので催しなどの際には、必ず声掛けし気軽に訪問して欲しいことを話しているが、車がないと気軽に来れるような場所ではないのでなかなか難しい状況である。		
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	・行事などへ活動としては参加していないが(主催者側として)、見物などは常に行っており交流はしている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	・行っていない。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・運営推進会議は現在までに2回行っているが、会の活かし方・意義が参加者にいまいち理解されていない。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	・村の高齢者ケア会議に参加し情報提供・交換をするようにしているが、勤務の関係上なかなか参加できていないのが現状である。	○	・勤務の調整を行ってできるだけ参加できるようにしたい。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	・成年後見制人の必要性を感じる入居者はおられますが、実施には至っておらず、勉強会の場もない。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・学ぶ機会を設けていない。	○	・サービス担当者会議などで勉強会を開きたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>・体調悪化のために、併設の特養へ移るというケースが多く、家族の不安は取り除けている。また、入院されても3ヶ月間部屋を確保する事が出来るので、グループホーム入居対象から外れる様な事があっても、その間に別の施設(特養や老健)の申請ができる。それに、退所してからの行き場所が見つかるまではGHでお世話をする事を説明してある。</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>・認知症という事もあり、なかなか入居者様からの訴えは聞かれないが、苦情の相談は体制は出来ている。外部へ表せる体制も出来ており、連絡先などの表示もしているが認知症の方が自ら訴える事は難しいと思われる。</p>	<p>○</p> <p>・月に一回程度を目標に、外部より苦情相談員を招きたい。</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>・金銭管理については行っているが、その他は行っていない。家族から連絡が入った際に、健康状態の報告はしている。</p>	<p>○</p> <p>・毎月、生活状況が分かるような写真と健康状態の報告をしたい。</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>・苦情訴えの体制は整っており、玄関に表示してあるのが、現在のところ訴えはない。(訴えの用紙も備えてある)</p>	
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>・毎月、サービス担当者会議を設け管理者への報告・提案をしている。</p>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>・3人勤務・4人勤務の際にも、家族からの訴えに対しては、必ず時間を取り対応している。</p>	
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>・複合の施設運営の為なのか、GHでの要望はなかなか聞き入れてもらえず、他、事業所優先の人事をしているように感じる。(事務所間での話し合いで行われ、GHの意見は反映されていない)</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>		
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>		
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>		
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>		
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・殆どの方が、支援センターが関わっており各種のサービスを受けているおられるので充実している。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	・部屋の雰囲気などは面接時に把握し、趣味や好きな物なども本人・家族よりうかがいケアできるよう努めている。本人は忘れていた事が多くその場限りの話をされる事多く、昔の出来事や好きだったものは殆ど家族からの情報になっている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	・畑仕事など好きな方が多く、また詳しいので聞きながら肥料を蒔いたり苗を植えたりしているが、そんな時は生き生きとした表情・行動が見られる。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	・大きな行事への参加の声掛けはしているが、こまかい行事には負担になるかと考え積極的には声掛けをしていない。また、問題等が発生した際には相談をして解決策を考えている。家族と関わる事によっていい方向に向うことが多いが、中にはGHの環境と家族の中の環境で戸惑ってしまい、家族が困ってしまう事がある。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	・家族との関係はそれぞれで様ではなく、複雑な方もおられるので、良く理解して行わなければならないが、GHは少人数なので把握し易い部分はある。誕生日の際には、バスハイクに出掛け家族にも知らせたり(無理に会いに来て頂くことはない)、年末に忘年会として前家族が集って過す行事は開催している。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・馴染みの方との関係は、こちらから出向いて行くのは殆どなく面会に頼るしかない。場所などは、バスハイクや個人のドライブなどを行っている。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	・現在の我がホームでは、そのことが一番の問題点となっており、一人の入居者のために他の入居者同士のコミュニケーションが安心・安全の中で築けない状況にある。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	・現在の所、終了者は病院・特養となっており家に帰られた方はおられません。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・毎月、サービス担当者会議・カンファレンスを行い入居者の状況把握に努めている。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・開所して4年目に入っており、ある程度の状況把握は出来ているのではないかと思います。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	・毎朝、バイタルチェックを行いながら会話をしており、体調の管理の把握は大体朝出来ている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	・毎月、サービス担当者会議・カンファレンスを行い、担当者にはアセスメントを行ってもらい皆で検討し、ケアマネがケアプランを立てている。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	・介護計画の見直しは、6ヶ月おきに必ず行なっている。対応できないような状況になった際は、病院等への入院になるので、今までには発生していない。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・毎月のカンファレンスで介護計画の再確認をしており、見直しの際活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	・認知症グループホームなので、多機能(通所・訪問)サービスはない。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	・運営推進会議の際メンバーに、民生委員・消防・警察の方が入っておりGHの様子を把握して頂いているが支援までには至っていない。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	・同法人内のケアマネジャーとの話はしているが、認知症GHなので他のサービスは利用できない。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	・支援センターとは、GHで対応出来なくなった場合の話し合いは持っている。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・定期的な通院や、毎月一回の居宅療養管理指導を受けており医療面では充実している。		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>・個人で神経内科などの受診はあるが(職員引率)、全員がそうではない。ただ、上記の際にDrとの相談は出来ている。</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>・複合施設となっているので、特養の看護師と連携を取り対応している。(GH職員中に、介護士として働いているが准看護師が1名いる)</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>・特に早期に退院できるような相談はしていない、入院の際には同行し、今後の治療、経過予測についての話し合いを行い、契約書に謳ってあるように3ヶ月は部屋の確保が出来る事を話してある。</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>・現在まで、重度化(身体的に)された際には入院となっている、退院後の状態だけで、支援センターと相談をし併設の特養へ入所となっている。</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>・取り組んでいない。</p>		
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>・現在の所、元気で別のグループホームへの移り住みは2件あったが、それぞれの施設へ情報の提供をしている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	・馴染みの関係が出来てしまい、馴れ馴れしい口調になっていたり、また、排尿排泄誘導の際の言葉掛けがオープンになっていることがある。個人情報漏洩に関しては(不必要になった記録等)、シュレッターにて処分している。	○ ・会議等には必ず議題として上げ処遇の向上を行いたい。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	・常に無理強いせず、本人の意思に任せた活動を心掛けているが、自分から「あれをしたい」などの要求がなかなか出て来ないのが現状としてある。冬期間を除いて毎月故郷訪問として出身地方面へバスハイクに出かけている。(その日の状況で取り止めもある)	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・入居者自らの希望がなかなか出てこないで、その人にあつたような過し方に心掛けている。押し付けはしていないが、そのため何も出来ない状況も出て来る。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	・助言はするが基本的には本人に任せている(夏らしい服装をさせたくても、寒いといって着込む人もいたりする)。理美容は、限られた方(訴えのある方)は美容院に連れて行っているが、殆ど村内の床屋さんにて2ヶ月に1回のペースでGHに来てもらっている。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	・基本、無理強い・強制はしないので本人の自主性に任せている。(現在は、1名の方が必ず食事の後片付けに着ておられる)活動に野菜の皮むき等を入れホールで行う事もある。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	・お酒などの嗜好品は殆どの訴えがない、おやつに関しては要求がある時は出来るだけ応じている。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	・時間を決めて誘導をしたり、排便の確認をし(確実に把握できない)下剤の投薬・調整をしている。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	・職員サイドで決めているが、要望にも応じている。が、殆ど要望が聞かれない。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	・活動等も強制はしていないので、休息は自由に取れる環境にある。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	・殆ど要望がなく関わりが難しい面もあるが、その方の生活歴や好きなことなどを家族から聞いているので、それに添ったケアを心掛けている。 ・食材の買出しに一緒にたりすると(個別対応)、「ただこややって乗っただけでも気晴らしになって良い」と話す方もある。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・お金を所持して買い物をする事の重要性は分かっているが、家族の要望と他入居者とのトラブルの原因になる可能性があるので持たせていない(法人事務所預かり)。ただし、買い物や出掛ける際には、事務所より出してもらい個人で使えるようにしている。領収書をもらい、残金と共に事務所へ戻している。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・殆ど要求が無いが、促して動きがある際には出掛けている。毎日1回は必ず、ゴミ捨て散歩として施設内一周の散歩に出掛けている。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	・頻繁には無いが、誕生日の日などにふるさと方面へドライブに出かけたりする事もある(個別対応)。 ・家族とのお出かけは自由に行ってもらっているが、機会作りとなると家族の都合などがありなかなか上手く行えていない。また、他入居者とお出かけは、近隣市町村の行事の把握に努め、全員あるいは数名で出かけている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・電話は、限られるが行っている。手紙・葉書は、職員の促しによって行っている状況。(ケアプランに謳っている方もある。)		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	・訪問の際には、部屋・和室・ホールと自由に使える環境となっている。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・厚生労働省発行による、身体拘束ゼロへの手引きに記載されている11項目を施設内に掲示し職員全員で把握しケアに心掛けている。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・夜間以外は、全てに鍵を掛けていない。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	・行動に対し制限はしておらず、自由に活動していただき見守りを行い事故、怪我の防止に努めている。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	・刃物に、マッチ等に関してはすべて預かるようにしている。但し、要望があれば貸し出し側に付いて見守りをしている。(認知症のレベルが低い方に対しては、見守りは行っていない)		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	・法人の特養で開催される勉強会に参加し、救急時の対応の勉強をしている。また、年4回の避難訓練に参加し火災時の対応の訓練もしている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	・GH自体では行っていないが、法人の安全対策委員会に属しその計画に沿って参加している。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	・避難訓練時に地域の皆さん(地域・消防団)の協力を頂き、昨年大々的に行っている。		・年1度は、地域ぐるみの避難訓練を行いスムーズな動きが出来るようにできればいい。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	・契約の際に話すが、入居されてから症状もそれぞれ変わるので、一人ひとりの症状に応じて都度家族には話している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	・体調不良者状態記録ファイルを作成し、職員全員で共有しケアににあたっている。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・一人ひとりの薬名とその効能・副作用を書き出し皆でケアしている。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	・排便記録に記入し排便の有無を確認し皆で共有しているが、把握できない時もある。下着の汚れなどでも判断している。Drとの相談で、薬に頼る事が多い。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	・朝食、夕食後のケアは確実にしている。毎月、歯科に居宅療養管理指導に入っただき口腔内状態の把握は行っている、また、その状態において口腔ケア用品の選択も行いケアしている。行為はなるべく自分で行っていただき確認、仕上げとして職員が最後に係っている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		
78	<p>○感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>		
79	<p>○食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>			
<p>(1)居心地のよい環境づくり</p>			
80	<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>		
81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
82	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・入居の際に家族へ、本人の馴染みの物や部屋の家具の配置の具合を聞き、それに沿った部屋作りをしている。 (自分で作ったダンスなどを持って来ている人もある) ・但し、身体的面で布団からベッドになった方もおられる。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	・天井側面にある窓の開閉で常に換気を行い温度調節も行っている。天井が高く空調環境はいいように思う。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・特に行っていないが、活動時に使用する卓球台や輪投げの道具をいつでも使えるように配置している。 ・洗濯物干しが自由に出来るようにしてある。 ・モップを自由に使えるように配置してある。 ・御茶を自由に飲めるように、台所にポットを常時置いている。(但し、全て限られた人の利用となっている)		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	・部分部分での自立ではあるが、全員の洗濯物をたたんで自分の物を持って行くとか(間違わないように見守り、助言する)、配膳されたお膳を各自見分けて持って行くなど。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	・建物の裏に小さな畑を作り畑仕事が出来るようにしている。 ・また、同法人が行っているデイサービスのゲートボール場がある。(個人で行う事は無いが、デイで行っている際には、一緒に参加させてもらうことがある)		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
		○	④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
			②少しずつ増えている
		○	③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)